

2025年9月25日

スムーズな乗降で利便性が向上

10月1日（水）、日光エリアの路線バスに QRコード認証・クレジットカード決済を導入します！

路線バスの利便性向上によりマイカー利用から鉄道・バスへの転換促進を図り、CO2排出量の削減を目指します

東武鉄道株式会社
東武バス日光株式会社

東武鉄道株式会社（本社：東京都墨田区）のグループ会社である東武バス日光株式会社（本社：栃木県日光市）では、日光エリアの観光等にご利用いただいているバスの利便性向上を図るため、2025年10月1日（水）より、環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」によるQRコード認証およびクレジットカード決済を導入します。

これまで東武バス日光では、フリーパスを含む乗車券類の有効区間等を乗務員が確認していましたが、近年インバウンドの急増等に伴い、人気観光スポットにおいては乗降に時間を要することが課題となっていました。

今回、「NIKKO MaaS」のフリーパスにおけるQRコード認証や、クレジットカードによるタッチ決済を導入するなど、キャッシュレス決済を拡充することでインバウンドをはじめ多様なお客様が、日光エリアでのご旅行をよりスムーズにご利用いただけます。

また、現金取り扱いにおいても、10月1日までに全車両の運賃箱を更新し、これまで千円紙幣に限定してきたバス車内での交通系ICカードへのチャージについては高額紙幣に対応するほか、お支払い時においても事前の両替が不要となる釣銭方式へ変更を行うなど、機能の向上を図ります。

これによりバスの利便性をより一層向上し、マイカー利用から公共交通利用への転換促進を図り、CO2排出量を削減することで、「国際エコリゾート日光」のブランド強化を進めてまいります。

東武グループは、今後も地域社会とともに、歴史・文化・伝統と自然が共生する「国際エコリゾート日光」の価値最大化へ取り組んでまいります。詳細は、別紙のとおりです。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



△東武バス日光にて運行するバス車両



△QRコード認証端末

※レシップ機製

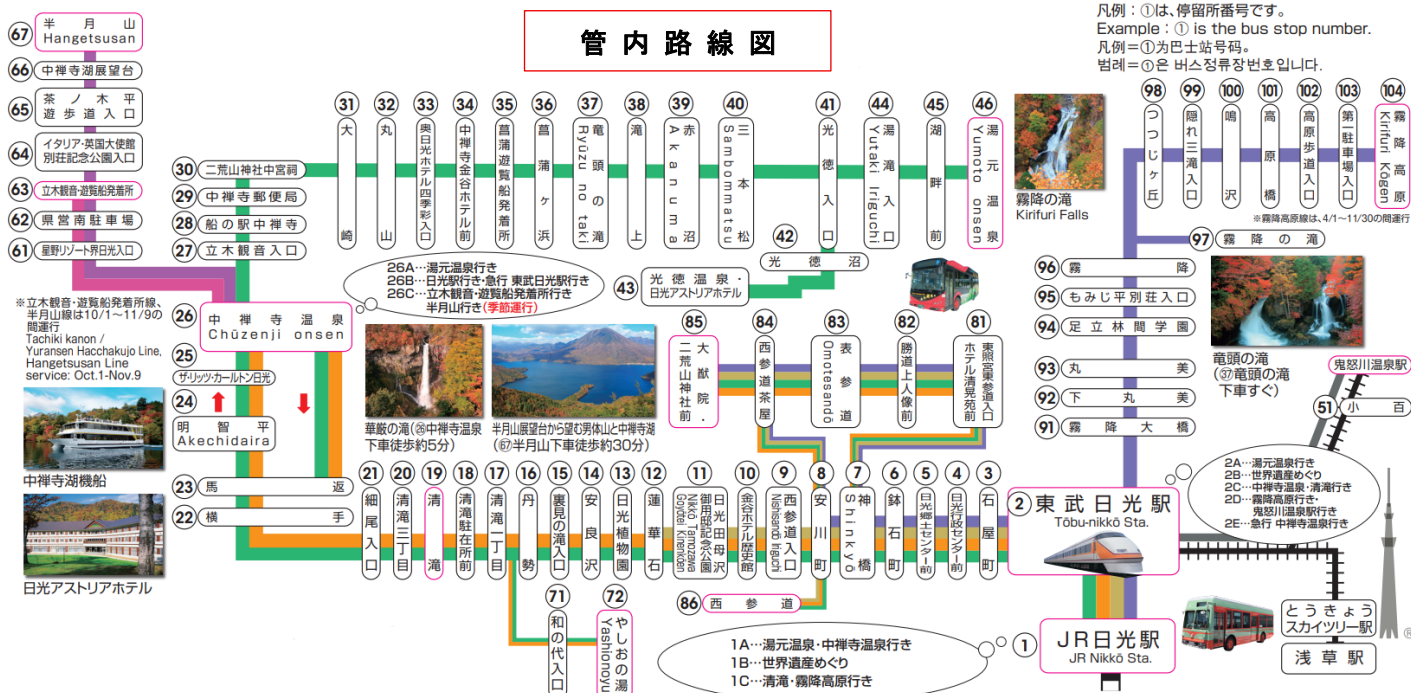


△「NIKKO MaaS」QRコード認証画面

日光エリアの路線バスにおけるキャッシュレス決済拡充等の取り組みについて

1 実施事業所 東武バス日光株式会社 日光営業所

2 対象路線 日光営業所管内全路線（日光駅～中禅寺温泉～湯元温泉線、世界遺産めぐりバス 他）



3 実施日

2025年10月1日（水）始発便からQRコード認証およびクレジットカード決済を導入いたします。

※高額紙幣への対応および釣銭方式の導入については順次実施しており、10月1日までに全車両への導入が完了いたします。

4 実施内容

（1）「NIKKO Ma a S」におけるQRコード認証の導入

「NIKKO Ma a S」フリーパスにてバスをご利用の際、お客様の端末画面上にQRコードを表示し、バス車内運賃箱（料金支払機）のリーダー端末へかざしていただくことで、適用路線や有効期間等の判定を行います。乗務員へ画面をご提示いただくことなく、バスをご利用いただけるようになり、これまで以上にスムーズな乗降が実現いたします。

（2）クレジットカード等によるタッチ決済の導入

タッチ決済対応カード（クレジットカード、デビット、プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等を、バス車内の端末にタッチすることで、運賃のお支払いが可能となります。

【決済対応ブランド】VISA、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、Discover、銀聯

（3）交通系ICカードへのチャージにおける高額紙幣への対応

千円紙幣のほか、五千円および一万円紙幣を用いたチャージにも対応いたします。バス車内にてチャージをご希望の際は、乗務員へチャージ金額をご申告いただきますようお願いいたします。

（4）現金でのお支払い時における釣銭方式の導入

日光エリアの路線バスについては、運賃箱にて事前に両替のうえ、お客様ご自身で過不足のないよう現金を投入いただく「両替方式」を採用していましたが、よりスムーズなお支払いができるよう、乗車時にお取りいただく整理券と、現金と一緒に投入することで乗車区間を判定し、自動で釣銭をお返す「釣銭方式」への変更を実施いたします。

以上

■環境配慮型・観光MaaS「NIKKO MaaS」について

「NIKKO MaaS」は、東武鉄道が提供する環境配慮型・観光MaaSです。鉄道・バスをセットにしたお得なデジタルきっぷのほか、EV・PHVカーシェアリングやシェアサイクル、EVバス等の環境にやさしいモビリティと、歴史・文化施設等の拝観・入場チケット、ネイチャーアクティビティ等の観光コンテンツを、ワンストップでご利用いただけ、スマートフォンから簡単に、検索・予約・決済が可能となるサービスです。

「NIKKO MaaS」WEB サイト：<https://www.tobu-maas.jp/>

※「NIKKO MaaS」はスマートフォン専用サイトです。



△「NIKKO MaaS」フリーパス

QRコード認証画面

【東武グループにおける主な環境負荷低減の取り組み】

○栃木県内の東武グループ各施設にて生じた廃食油由来のバイオ燃料バスの運行

環境省が募集する「脱炭素先行地域」における、奥日光エリアを対象にした日光市との共同提案の取り組みとして、栃木県内の東武グループ各施設で生じる廃食油を用いてバイオディーゼル燃料を精製し、日光地域において運行する路線バス等で使用することで地産地消のエネルギーサイクル構築をしています。



△バイオ燃料バス・燃料精製プラント

○渋滞スポットを回避する急行バスの運行

一大紅葉スポットである中禅寺湖エリアと東武日光駅間を結ぶバス路線において、日光市街地の渋滞スポットを回避する日光宇都宮道路経由の急行バスを4月1日から11月30日まで毎日運行しています。日光市街地は紅葉等の行楽シーズンになると、栃木県内外からの自家用車の増加による渋滞が発生し、長年の地域課題となっています。この課題に対し、公共交通機関の積極的な利用による脱炭素を推進しており、急行バスの運行はCO₂排出削減を推進するために実施しています。



△急行バス・乗り場スタンドサイン

○路線バスの「客貨混載」事業

配送経路とバス路線が重複する東武日光駅から中禅寺温泉バスターミナル間において、路線バス網と路線バスの貨物スペースを有効活用し、客貨混載とすることで、ヤマト運輸の集配車両の走行距離削減による温室効果ガス排出量の低減を実現しています。



△客貨混載（イメージ）